



はじめに

- 「大妻募金ニュース」は、本学にお寄せいただいた寄付に関するニュースをお届けします。6月と12月の年2回発行予定です。
- 6月から大妻講堂修繕支援募金の特設Twitterを開設しました。ぜひご覧ください！



目次：

- ご協力ありがとうございました—令和3年度寄付金のご報告
- 令和3年度の寄付金活用事例を一部ご紹介
- 大妻講堂修繕工事がいよいよスタート

★Otsuna フォト



千代田キャンパスの地域貢献イベント「大妻みちあそび」（写真は2019年開催時）

※2022年度は7月16日（土）に開催予定です。

1. ご協力ありがとうございました—令和3年度寄付金のご報告

大妻学院に温かいご支援を賜りました卒業生をはじめとした有志の皆さま、心より感謝申し上げます。令和3（2021）年度の寄付金の総額、大妻未来募金内訳を以下のご報告いたします。

● 総額

（円）

寄付金の種類		件数	金額
大妻講堂修繕支援	個人からの寄付	210	7,841,001
	学院関係団体、法人からの寄付	17	17,110,000
	小計	227	24,951,001
学術奨励	奨学寄付	9	11,005,420
	人間生活文化研究所賛助会費	11	2,520,000
	小計	20	13,525,420
教育研究支援	個人からの寄付	112	2,258,777
	学院関係団体、法人からの寄付	19	83,453,824
	小計	131	85,712,601
就学支援	個人からの寄付	36	15,675,000
	学院関係団体、法人からの寄付	4	15,292,000
	小計	40	30,967,000
環境整備支援	個人からの寄付	19	360,000
	学院関係団体、法人からの寄付	1	2,000
	小計	20	362,000
現物寄付		—	22,340,808
古本募金※		—	346,914
その他寄付金		4	1,884,112
合計		442	180,089,856

※2018年10月から開始。累計は令和4年6月1日現在で872,601円（24,332冊）です。

● 大妻未来募金 内訳

（千円）

（千円）

指定いただいた用途	件数	金額
キャリア支援	6	132
国際交流支援	3	57
課外・ボランティア活動支援	1	100
地域社会との連携事業に対する支援	4	25
指定なし	大・短・院	22
	中高	10
	多摩中高	2
	中野中高	6
	嵐山中高	2
	大妻学院	35
奨学金	大・短・院	24
	中高	5
	多摩中高	1
	中野中高	5
	嵐山中高	2
施設・環境整備	20	362
新型コロナウイルス感染症対応	29	645
合計	177	18,883

	個人	法人	団体	金額
一般	10,075	400	183	10,658
教職員	1,293	0	6	1,299
在学生	170	0	0	170
卒業生	6,526	0	0	6,526
保護者	230	0	0	230
計	18,294	400	189	18,883

（のべ人数）

	個人	法人	団体	人数
一般	8	2	4	14
教職員	50	0	2	52
在学生	5	0	0	5
卒業生	92	0	0	92
保護者	10	0	0	10
計	165	2	6	173

大妻募金ニュース

2. 令和3年度の寄付金活用事例を一部ご紹介

令和3年度も多額のご支援を賜り、誠にありがとうございました。前号（第6号）ではコロナ対応寄付金（大学・中高）および国際交流支援寄付金（大学）の活用事例をご紹介しましたが、引き続き、他使途の活用事例を報告いたします。



「新型コロナウイルス感染症対応修学支援」寄付金は、大学は経済的に困窮している学生への食の支援として、食堂で利用できる500円の食券のへ4,030食分を給付。中高では令和2年度と同様、コロナ禍による社会経済

活動の制限により家計が急変した生徒への授業料減免対応費として、大妻中高2人、大妻中野中高1人に給付いたしました。大妻嵐山中高では感染拡大防止のための洗面所の水栓交換費（写真左）として活用させていただきました。

「キャンパス環境の整備」寄付金は外構清掃用の高圧洗浄機（写真右）やゴミ箱の購入費に充当いたしました。学生・生徒たちが気持ちよく登校できるよう、今後も美しいキャンパスの維持に努めていきます。



3. 大妻講堂修繕工事がいよいよスタート

現在、ご支援をお願いしております大妻講堂修繕支援募金。その募金の目的である大妻講堂の大規模修繕工事が6月6日にいよいよスタートしました。

工事の手始めは客席の撤去から。布部、鉄部、木部と分解・分別しながら、職人さんたちが一つ一つ取り外し、6



月15日には3階部分までの全席1,203席が撤去されました。この後は修繕工事の重要な目的である天井耐震化と照明のLED化の作業へ。大妻講堂は地下1階から地上4階までの吹き抜けとなっているので、更地となった1階部分にこれから数10メートルの高さの足場を組み上げていきます。

工事の間の約1年間、大妻講堂は利用できなくなります。関係者の皆さまにはご不便をおかけしますがどうかご了承ください。

令和3年6月1日から始まった同募金は、おかげさまで29,786,101円（※令和4年6月1日現在）のご支援をいただいております。お心遣い誠にありがとうございます。

目標金額5,000万円達成までどうか引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

工事直前までOCとオルガンコンサートでフル活用

大妻講堂は工事スタート直前の週末、6月4日（土）、5日（日）までイベントでフル活用されました。

4日（土）はドイツ古典オルガン音楽の最高権威者と呼ばれるオルガニストのエルンスト・エーリヒ・シュテンダー氏を招いたチャリティーオルガンコンサート（一般公開）を実施。バッハや滝廉太郎の名曲や本学校歌などを演奏し、来場した約400人の聴衆を魅了しました。

翌5日（日）のオープンキャンパス（OC）では大妻講堂を入試総合ガイダンスや入試面接・小論文対策講座の会場

として活用。多くの入学希望者や保護者の皆さまをお迎えしました。それぞれ当日の様子は大学ホームページをご参照ください。



編集後記

募金ニュース第7号いかがでしたでしょうか。各種催して活用されてきた大妻講堂、大切に使用してきましたが設置後30年を経て色々傷んでおりました…。大妻講堂修繕募金の特設Twitterでは、なかなか見られない内部修繕工事の様子や募金の進捗など配信していきます。ぜひご覧ください。

編集・発行／問い合わせ先

大妻学院財務センター 寄付・募金グループ

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

電話：03（5275）6407 <平日8:30～17:30>

FAX：03（5275）6800

電子メール：kifu@ml.otsuma.ac.jp

URL <http://www.otsuma.jp/donation/>

